



# 計画の目標・目標達成のための事業（2022.6～2027.9）

## 計画の目標

### 目標1 利用しやすく持続可能な市内ネットワークの最適化

市民・来訪者の移動しやすい環境の実現に向けて、行政・交通事業者の連携強化に取り組みとともに、生活圏や観光圏の多様な移動ニーズに応じた市内ネットワークの最適化を図り、市内バス路線・地域コミュニティ交通（タクシー、乗合タクシー等）の利用者数の回復、持続性の向上を目指します。

- ▶ 指標1 市内バス路線の**輸送人員の回復**を図ります
- ▶ 指標2 タクシーの**輸送人員の回復**を図ります
- ▶ 指標3 地域コミュニティ交通の**持続性の向上**を目指します

### 目標2 市民・来訪者が利用しやすい利用環境の充実

市民や国内外から訪れる来訪者など、誰もが使いやすい公共交通環境の実現に向けて、待ち時間を過ごしやすい待合環境や情報案内・誘導、ユニバーサルデザイン車両等の充実を進め、使う人の視点から利用環境の充実を図る取組を目指します。

- ▶ 指標1 利用者に見える形での**交通結節機能の強化**を目指します
- ▶ 指標2 主要な拠点の**利用しやすい環境の充実**を目指します

### 目標3 多様な移動ニーズに対応した幹線交通の持続・活性化

通勤や通学、買い物、通院、観光・ビジネスといった多様な目的で利用され、地域間の移動・交流を促進する重要な機能を果たしている幹線交通は、公共交通モード間・広域自治体間の連携による取組を進め、コロナ禍で急減した利用者数の回復・持続性の向上を目指します。

- ▶ 指標1 鉄道駅・フェリーの**輸送人員の回復**を図ります
- ▶ 指標2 幹線バスの**輸送人員の回復**を図ります

### 目標4 多様な関係者との連携を通じた利用促進・情報提供の充実

市民をはじめ、商業・医療・観光等の沿線施設、他分野の関係団体・部署、各交通事業者、行政などの多様な関係者と連携し、移動やお出かけ先での楽しみを含めた利用促進・情報提供を多彩に進め、市民や来訪者が公共交通を使って自由に移動するまちの実現を目指します。

- ▶ 指標1 使う人の視点から**情報を入手しやすい環境の充実**を目指します
- ▶ 指標2 **公共交通利用率の向上・連携する関係者の拡大**を目指します

## 目標を達成するための事業

### ①段階的な市内バス路線再編の推進

- **市内バス路線等のモニタリング・分析**
  - コロナ禍の収束に向けたモニタリング、利用回復の状況に関する継続的な分析
- **アフターコロナに合わせた市内バス路線網の再編**
  - アフターコロナの需要に応じた路線網の最適化、
  - 需要・ニーズに応じた補助路線の見直し など

### ②地域コミュニティ交通の維持・充実

- **多様なニーズに対応するタクシーの持続・利用促進**
  - 細やかなサービスに対応するタクシーの利用促進
- **市民協働による地域コミュニティ交通の支援**
  - 乗合タクシーの利用促進・改善、市民協働による地域コミュニティ交通の取組の推進

- **新モビリティ・ICT技術等の活用及び検証**
  - 便利で快適に移動できる公共交通の実現に向けた新技術活用の調査・研究の推進
- **行政・交通事業者の連携強化**
  - 公共交通専門ワーキング等を通じた行政・交通事業者の連携強化（体制の整備）

- **共生社会を支える移動しやすい環境の整備**
  - 高齢者や心身障がい者にとっても自由に移動しやすい環境への支援
- **行政・交通事業者の連携強化**
  - 交通事業者との密接な連携による取組の推進

### ③幹線交通と接続する交通結節機能の強化

- **交通結節点における待合環境・情報案内の充実**
  - 幹線交通と接続する交通結節点の待合環境、情報提供・誘導などの交通結節機能を強化

### ④主要な乗り場・車両等の環境整備

- **主要拠点（モビリティハブ）の環境整備**
  - 市内の地域生活拠点や観光拠点の待合環境、情報案内・誘導の充実、乗継利便性の向上

- **周辺施設・コンビニ等と連携した待合環境改善**
  - 沿線施設と連携したバス停環境の充実
- **ユニバーサルデザインの推進**
  - 誰もが利用しやすい乗り場・車両等の整備促進

### ⑤幹線交通の提供サービスの持続・利便性向上

- **大分県中部圏で連携した一体的な路線維持**
  - 大分県が主体となって圏域内3市・交通事業者が連携しながら幹線交通の取組を推進

- **利用者ニーズに応じた待合環境の改善**
  - 一部ニーズのある交通結節点の機能向上
- **公共交通モード間の乗継利便性の向上**
  - 異なる公共交通モード間の乗継利便性の向上

### ⑥利用者の目に触れる機会を増やす情報発信・PRの充実

- **市民・来訪者への情報発信・PR**
  - 多様なコミュニケーションツールでの情報発信の充実、運転手の募集活動に関する発信

- **利用者目線による情報提供の充実**
  - わかりやすいアプリ等の活用促進、宿泊先や学校等の情報を入手しやすい拠点の充実

### ⑦多様な関係者との連携の促進

- **大規模イベント時の利用促進**
  - 市内イベントに合わせた誘導・パーク&ライドなど
- **各ターゲット層への情報提供・利用促進**
  - 転入者・免許返納者などに向けた仕組みづくり

- **来訪者・市民の利用のきっかけをつくる利用促進**
  - 付加価値を付けた公共交通の市内散策プラン
- **関係部局・団体等と連携した調査・改善**
  - 観光・福祉団体等と連携したサービス改善調査